

	背景と概要	町の取組状況
英語の教科化	<p>新学習指導要領 ～小学校 H32年度、中学校 H33年度</p> <p>※英語に親しむ活動の開始を小学3年に早め、小5から英語を正式教科化。小中高の一貫した学びを重視。</p> <p>※現行指導要領の「脱・ゆとり」路線を継承。授業の改善で「対話的で深い学び」を実現し、思考力や主体性を伸長。</p>	<p>H26-29 文部科学省「英語教育強化地域拠点事業」指定、実践中</p> <p>・教職員全体研修会で教育課程伝達研修会を実施し、学習指導要領の内容を周知。</p>
プログラミング教育	<p>新学習指導要領</p> <p>～小学校での「プログラミング教育」を必修化</p>	<p>H29 事例研究(プログラミング的思考の育成について)</p> <p>・総合的な学習の時間などで、文字入力等の習得を継続。</p>
道徳の教科化	<p>小学校 H30年度、中学校 H31年度から教科化</p>	<p>宮代町道徳郷土資料「どんぐりピアノ(小5)」「山崎山(小6)」「島村盛助(中1)」の道徳資料の増刷</p>
学校施設の老朽化	<p>人口減少に伴う児童生徒数の減と学校施設の建替えという二課題を解決するため、町立小中学校の「規模」と「配置」の適正化を図るもの。</p>	<p>H28 「宮代町立小中学校適正配置計画」策定(町経営会議) 同年10月、「地域説明会」開催</p> <p>H29 地域説明会での意見等を踏まえた課題整理と検証作業</p> <p>①人口推計(最新データへの置換による、推計値更新)</p> <p>②長寿命化(文部科学省解説書に基づく資産整理)</p> <p>③地域拠点(地域の核としての小学校のあり方検討)</p>
ICT環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数3.6人 ・教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の整備 ・超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100% ・校務用コンピュータ教員1人1台の整備 ・教育クラウドの導入やICT支援員・学校CIOの配置を促す。 	<p>H22 現行パソコン教室整備(7年経過)</p> <p>H27 校務用コンピュータ整備</p> <p>H28 校務支援システム導入</p> <p>H28 ICT環境構築デモ実施(小中学校教職員、30名参加)</p> <p>H29 ICT環境向上のためのインタビュー(町内小中学校単位) (タブレット端末を含めたICT環境に対するニーズ把握) →タブレット端末導入に対する高いニーズを確認</p>

	背 景 と 概 要	町 の 取 組 状 況
放課後子ども総合プラン	<p>【趣旨】 共働き家庭等の「小1の壁」の打破、次代を担う人材育成のため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子供教室の計画的な整備等を進める。</p> <p>【国目標】 新設する放課後児童クラブの約80%を小学校内実施</p>	H27.3「放課後子ども総合プラン宮代町行動計画」策定(教委審議) H29 上記行動計画において、「平成31年度までに整備すること」とされている「放課後子供教室」の具体的な実施策の策定。
町民体育祭の活性化	<p>体育祭参加地区数、参加者数の減</p>	H28「町民体育祭のあり方を考える座談会」実施 「PRの仕方」 「キッズプレイランドの設置等のイベント性の向上」 「スポーツ団体など地区以外の団体参加」等